

しあわせ

vol.22
2021年10月



【巻頭言】法人の監事として

社会福祉法人 京都社会事業財団 監事 浅野 義孝

各施設の令和2年度 事業報告

- ・当法人の役員ご紹介
- ・法人職員目安箱（投書箱）の案内について

当法人施設の
新型コロナウイルス感染症対策について

「光明寺の紅葉」

長岡京市で紅葉のスポットといえば光明寺。地元ではモミジの寺として有名で、最近では全国的にも知られるようになり、秋は、広大な境内を数百本のモミジが紅に染め、参道の石畳もモミジで埋め尽くされます。ゆるやかな坂道のみみじ参道は、ドラマチックで華やかな紅色のトンネルになります。寺社一帯が真っ赤な紅葉に燃える風景は圧巻。お寺と紅葉の風景は日本の四季を感じさせます。

[walkerplus 紅葉名所 2021] より引用



社会福祉法人 京都社会事業財団
Kyoto Social Welfare Foundation

法人職員 2,500名

各施設の所在地

京都桂病院
京都桂看護専門学校
にしがも舟山庵
にしがも透析クリニック
西陣病院
京都からすま病院
北野保育園
成逸センター
京都厚生園
京都厚生園松尾の家
京都厚生園山田の家
つばさ園・ももの木学園
ゆずの木ホーム
榎の木ホーム
松陽児童館
ライフ・イン京都
二条保育園
二条保育園
昭和保护園
京都桂川園
京都桂川園久世障害サービスセンター・ショートステイ



社会福祉法人 京都社会事業財団
Kyoto Social Welfare Foundation

法人本部 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地(京都桂病院内) TEL075-391-5811代(内線8606) / FAX075-393-0140
URL <http://kyoto-swf.com> E-mail honbu@kyoto-swf.com

季刊広報誌 しあわせ 発行/社会福祉法人 京都社会事業財団 編集/法人本部事務局 発行日/2021年10月25日 印刷/有限会社 アクト

各施設の令和2年度 事業報告

西陣病院

事業総括

COVID-19の影響により、患者数は減少しましたが、この一年の“頑張りようのない状況”の中では、職員が我慢を重ね冷静に業務にあたり、職員や透析患者にクラスターが出なかったことが何より良かった事だと考えます。なお令和3年2月から透析治療を柱の1つとした当院の社会的責任と必要性から、現場の医師や看護師が積極的な意思を持ち感染者の受け入れを開始しました。



重点項目

- 1 感染者の受け入れと感染対策の徹底
- 2 病院体制の維持
- 3 診療環境の整備

〒602-8319 京都市上京区五辻通六軒町西入溝前町1035
TEL: (075) 461-8800 FAX: (075) 461-5514
URL: <https://www.nishijinhp.com>
E-mail: nisijin@nisijin.net

京都桂病院

事業総括

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院として高度急性期・急性期の医療とがん医療を地域に提供することを基本方針とします。COVID-19の入院加療を行い、救急と紹介からの新入院患者の増加を目指しましたが、1か月998人で目標の1100人に達しませんでした。救急入院は職員の協力で増加しましたが紹介入院は減少しました。



新棟GH棟建築

重点項目

- 1 GH棟建築し機能・環境を改善し、緩和病棟の運用を開始した。70名のCOVID-19入院加療を行った。
- 2 がん診療は、ダ・ヴィンチによる手術151件施行するなど質の向上に努めた。
- 3 救急車搬入件数は年間3987台で、今後ER、ICU、SCU、HCUなどを新築する。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地
TEL: (075) 391-5811 FAX: (075) 381-1069
URL: <https://www.katsura.com>
E-mail: info@katsura.com

にしがも透析クリニック

事業総括

令和2年度の事業計画に基づき、目標を「安定した維持透析と自立した日常生活への支援」とし、感染予防対策の徹底や、患者送迎サービスの実施、機器整備では透析装置の更新などについて積極的に取り組み努力してきた結果、透析患者の診療、にしがも舟山庵入居者の健康管理、及び一般診療の実績は一定の成果を得られました。



重点項目

- 1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策
- 2 新規・維持透析患者(自宅から通院、にしがも舟山庵入居者)の確保・受け入れ対策
- 3 病診連携の充実(西陣病院、にしがも舟山庵、在宅医療に携わる医師や看護師)

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3番地の1
TEL: (075) 495-1131 FAX: (075) 495-1144
E-mail: nishigamo-hdc@room.ocn.ne.jp

京都からすま病院

事業総括

事業譲渡に伴う看護師の大量退職で看護師不足が生じ約半年間に亘って入院を制限しました。12月11日新型コロナウイルスによる院内クラスターが発生し収束した2月19日迄の71日間で収益は大きく低迷し大打撃となりました。2020年度は「医療の質」、「経営の質」再構築の足掛かりの予定が、「医療安全」と「院内感染対策」の脆弱性が露呈した1年となりました。



重点項目

- 1 人材確保: 看護師、PT、MSW
- 2 地域連携室の機能強化(人員確保)と積極的な営業活動
- 3 委託費の見直し

〒603-8142 京都市北区小山北上総町14
TEL: (075) 491-8559 FAX: (075) 492-4304
URL: <https://www.karasuma-hp.com>
E-mail: info@karasuma-hp.com

巻頭言

新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大のもと取東も見通せず、我が国だけでなく全世界的な脅威となっています。そうしたなかでも、法人が運営される病院や施設等におきましては、様々な困難をかかえておられる市民の皆さまの、生命と健康、そして暮らしを懸命に支えていただいております。全ての職員の方々に、日々のご労苦に対しまして心から敬意とお礼を申し上げます。今後とも、新型コロナウイルスの収束まで、法人の崇高な設立目的である「個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援する」に則り、職員におかれましては、健康等にはくれぐれも留意していただくとともに、かけがえのない生命と暮らしを守るためにご尽力いただきますようお願いいたします。

私は京都市役所で約半世紀、そのうち7割弱という長い期間、民生局・保健福祉局という組織の中で、保健・医療・福祉の業務に携わってまいりました(保育所、国民健康保険、障害児や障害者の福祉、生活保護、地域福祉、市民の生命・健康を守る保健所・市立病院など)。その間、職場では情熱・意欲あふれる上司・先輩から厳しく指導を受けながら、困っておられる市民の様々な課題の把握とその解決等に向け、日々議論等を交わしてきました。「行政は、市民の抱えておられる生活・健康などの問題から、自立していただくためにどう寄り添い、どう支援させていただくのか」。そして仕事を進めるなかで、私の一つの大きな柱になったのが「現地・現場主義」でした。机に座っているだけでは「何も見えない、見えてこない」、必要なことは、今、直接市民と接している事業所や区役所等の職員の生の声を聴くことが、最も大切なことだとの思いにたどり着き、可能な限り現場に赴くことを実践するように努めてきました。現場では、厳しい現実に基づく苦言や

叱責等だけでなく、建設的な意見や提案も数多く頂戴することが出来ました。その経験の積み重ねにより今の私があり、そして私の貴重な財産にもなっています。新型コロナウイルスの収束後には法人の各施設に寄せていただき、皆様の思いをお聴きするとともに、課題等の解決に向け、私の経験が少しでもお役にたてるよう努めてまいりたいと思っております。

京都で最大の施設数を擁する当法人は、様々な困難を抱えた多くの市民が日々利用されています、そうした法人で役員をさせていただけるのは誠に光栄であり、責任の重さをひしひしと感じています。私の大きな職務であるコンプライアンス・ガバナンス等の観点からのチェックや意見表明等には止まらず、過去の経験等も最大限生かしながら、利用者に親しまれ信頼される法人運営に向けて、微力ですが一翼を担わせていただくと決意であります。

法人の監事として



社会福祉法人京都社会事業財団
監事 浅野義孝

二条保育園

事業総括

新型コロナウイルス感染が、令和2年度に入っても感染拡大が止まらず、4月に全国に緊急事態宣言が政府から発令され、京都府は特定警戒都道府県に指定されました。一旦収まりかけても第2波・第3波の感染拡大があり、年度末には第4波の兆しが有りました。

保育については4月・5月は感染防止のため登園自粛を保護者に要請し、出席率が20%の日もあり、全園児が揃ったのは6月に入ってからでした。保育活動も制限せざるを得ない状況が1年間続きました。

保育活動が制限される中、園児の成長発達をどのように支えて行けばいいのかを模索しつつ保育を進めました。

重点項目

- 1 新型コロナ感染防止対策。園児の健康管理の徹底
- 2 ICTの活用。ICTを使って登園自粛中の園児・保護者支援の実施
- 3 運動会、生活発表会、大文字登山など感染防止対策をして実施した。

〒604-8404 京都市中京区聚楽廻東町7番地
TEL: (075) 841-0139 FAX: (075) 841-6019
URL: <http://www.nijo-hoikuen.sakura.ne.jp>



北野保育園

事業総括

◎新型コロナウイルス感染防止対策として、衛生管理及び体調管理を徹底しました。園行事についても対策に万全を期し、開催をおこないました。

◎「パワーある保育の実践」「いのちと人権をはぐくむ子育て支援」子どもたちの人権を守り最善の利益を考え、豊かな保育内容の発展と保育機能の一層の充実につとめました。

◎食育の推進につとめました。

重点項目

- 1 新型コロナウイルス感染症防止対策
- 2 待機児童解消促進事業（産休明け・育休明け保育の推進）
- 3 一時預かり事業・障がい児保育事業
- 4 地域活動事業（翔鷲地域子育て支援ステーション事業・小学校、地域連携）
- 5 職員研修

〒602-8318 京都市上京区七本松通五辻上老松町103-60
TEL: (075) 462-6491 FAX: (075) 462-9128
URL: <http://www.kyoto-kitanohoikuen.jp/>
E-mail: kyoto.kitanohoikuen@spice.ocn.ne.jp



京都桂川園

事業総括

新型コロナウイルス感染症に翻弄され、特に在宅サービスへの影響が大きくて対応に苦慮した一年でした。そのような中、風通しの良い組織的な運営を目指して管理体制の強化や職員の登用を行いました。また、特養の入所選考規程の改定や久世センターの定員変更によって実績を改善、老人デイサービスについてはニーズ変化（減少）への対応を検討しました。

重点項目

- 1 職場環境の整備
- 2 技術、知識の向上
- 3 継続した地域との関係づくり

〒615-8033 京都市西京区下津林東大般若町32番地
TEL: (075) 391-1675(代) FAX: (075) 391-1640
URL: <http://katsuragawaen.com/>
E-mail: info@katsuragawaen.com



久世センター利用者との懇談会



京都厚生園

事業総括

当園が40周年を迎えた年でしたが、「感染予防策」「生活様式」「家族や地域とのつながり」「看取り介護」「医療連携」「業務継続計画」などの見直しに追われました。園の基本理念・基本方針に照らし、原点回歸すると共に、法人内の連携協働及び市内の同事業間のつながりが支えでした。誰もが我慢や努力を重ねた1年でした。

重点項目

- 1 経営基盤の確立・事業の継続性
- 2 人材確保と育成・ケア体制の見直し
- 3 地域との連携・貢献活動の推進
- 4 40周年記念事業

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地
TEL: (075) 391-7870 FAX: (075) 392-0191
URL: <http://www.kyotokouseien.com/>
E-mail: kswf@kyotokouseien.com



窓ガラス越し面会

松陽児童館

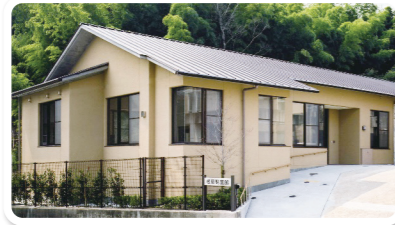
事業総括

新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りながら、新たな支援方法を模索し地域のすべての子どもたちの健やかな育ちと子育て家庭の支援に努めました。また学童クラブの人数増加に伴い、安心安全を確保できるよう環境整備を行いました。

重点項目

- 1 コロナ禍の中での子育て支援
- 2 遊びを通した子どもたちの健全育成
- 3 地域との連携
- 4 職員研修

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 392-6311 FAX: (075) 392-6312
URL: <http://www.kyo-yancha.ne.jp/syouyou/index.html>
E-mail: syouyou@kyo-yancha.ne.jp



昭和保育園

事業総括

一年を通じて心身ともに不安で落ち着かない日々が続きましたが、衛生的な保育環境の徹底、保護者対応、保育内容、さらにはWEBへの通信手段へ変換など多くの見直しをする機会にもなりました。元気で登園したり、再会したり、集うことに感動と感謝を覚えたりと、家族が一つになる姿が見えた一年でもありました。

重点項目

- 1 園児と職員の健康を第一に考えた保育内容に変更しました。
- 2 緊急事態宣言下の中、家庭や地域に向けてニコニコZoom配信で安全安心を届けました。
- 3 2階保育室および事務室の窓枠の取り換えを行い、防災防犯コロナ対策をしました。

〒605-0994 京都市東山区鞆町七条下ル一橋宮ノ内町15-4
TEL: (075) 561-0091 FAX: (075) 561-0743
URL: <https://www.showahoikuen.net>
E-mail: showa.renga@showahoikuen.net



ライフ・イン京都

事業総括

最重要課題である入居推進については、専従職員を配置することで体制強化を図り、今まで以上に活発に活動を行うことができるようになりました。また、ホームページの全面リニューアルを行うなど、将来に向けた今後の入居推進に活用すべく準備を整えました。

新型コロナ感染症対策では、支援金、補助金を活用しながら、各種の感染対策を行いました。

重点項目

- 1 新規入居の推進
- 2 職員の安定的確保
- 3 入居者満足度の向上
- 4 災害時の対応範囲の拡充

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-2
TEL: (075) 381-1870 FAX: (075) 381-1899
URL: <https://lifeinkyoto.or.jp>
E-mail: kswf@lifeinkyoto.or.jp



にしがも舟山庵

事業総括

入居者の穏やかな日常を支えるべく新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策に尽力し、辛い感染者なく終えることができました。職員関連では人材確保が困難で、働き方の柔軟性を考慮しながら介護職員の配置状況の見直し等にも取り組みました。収支状況では感染症関係の支出増もあり、例年になく厳しいものとなりました。

重点項目

- 1 入居者の生活の質の重視
長期行動制限による心身機能低下に対して緩急をつけて対応。オンラインによる面会や研修を導入
- 2 人材確保、職員の離職防止
就労形態を増やし働き方の多様化を促進
- 3 安定的経営基盤の確保
- 4 地域との連携

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1
TEL: (075) 495-1121 FAX: (075) 495-1161
URL: <https://funayamaan.com/>
E-mail: funayamaan@room.ocn.ne.jp





京都桂病院

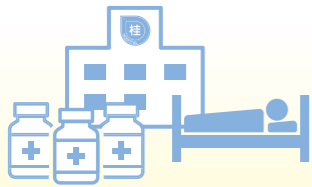
院長
若園 吉裕

中断した時期もありますが、京都府の依頼を受け2020年5月より1病棟をCOVID-19患者対応病棟としました。現在他に産科・小児科も各1床ずつ対応病床としています。診断確定までのCOVID-19疑い患者は陰圧部屋のある3病棟に収容しました。今まで累計155人の軽症から重症の患者の入院加療を行いました。面会は特別な場合を除き原則禁止としています。

またCOVID-19検査は2020年6月より院内で核酸増幅検査(LAMP・PCR)を行いました。マスクやガウンなど供給制限がみられた時期がありましたが節約するなどして対応しました。

感染対策には当初より留意し職員には院内通報などで情報発信し感染対策の徹底に努めています。院内感染も数回経験しましたがクラスターとなることはありませんでした。

ワクチンについては医療従事者ワクチンの基幹施設として自院職員向けは終了しました。一般向けのワクチンは西京医師会と協同して接種会場(西京区役所とエミナース)で行いました。



西陣病院

院長
葛西 恭一

- 2021年2月より6床のCOVID-19専用病棟を開設し、透析患者さんの陽性者を治療しています。当院発生例も含め2021年9月上旬までに計25名の患者さんを受け入れました。
- 職員の90%以上がワクチン接種を完了しています。透析患者さんや慢性期病棟に長期入院中の患者さんに対するワクチン接種も完了しています。一般患者さんに対するワクチン接種については、当院かかりつけの外来患者さんを対象として接種を行っています。
- 毎週月曜日に各部門代表者による対策会議を開催し、院内や京都府下のCOVID-19発生状況の確認、感染対策における問題点の検討を行っています。
- 全身麻酔による手術および消化器内視鏡手術予定の患者さんに対し、術前PCR検査を行っています。
- 面会は原則禁止ですが、長期入院の患者さんへのタブレットを用いた面会や終末期の患者さんへの時間や人数を制限した面会を許可するなど柔軟に対応しています。



京都からすま病院

院長
誉田 芳孝

引き続き病院建物入り口に体表面温度測定器を常置し発熱者の識別を行っています。入り口はもちろん院内各所にアルコール消毒液を設置し、院内でも頻回に手指消毒ができるようにしています。また定期的に館内放送で感染対策の徹底、換気を利用者、職員に呼び掛けています。

職員に対しては従来同様の感染対策に則った継続して生活を要請しています。職員、入院患者さんに新規の感染者は発生していません。感染者病室には4人の上限に対して2~3人が入院されていますが、幸い重症化して転院されるかたは最近はおられません。

ワクチン接種はその大部分を終了し、何等かの理由で接種ができていない方等を対象に少数のみ実施しています。

ご家族との直接の面会の一部の例外を除いて禁止を継続しており、タブレット端末を外来に設置して病室内とのweb面談を行っています。また、遠方のご家族とはZoomを用いた面談を近日中に開始します。



ももの木学園

事業総括

開設当時からの入所児童が高校生になり高齢児の割合が増えています。前年度は自己破壊的な行動をする中学生への対応に苦慮しました。児童相談所をはじめ学校や医療機関との協力関係が欠かせず、大変助けていただきました。

通所は少人数ながら、子どもと家庭の事情に応じて安定した利用がされています。



重点項目

- 1 事業の確立及び継続
児童心理治療施設の治療構造の確立
- 2 人材確保と育成
園内、園外研修にオンラインで積極的に参加
- 3 登校できない子どもへの対策
塾や家庭教師で学習の機会を保障

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 381-3699 FAX: (075) 393-4316
E-mail: momonoki@sage.ocn.ne.jp

つばさ園

事業総括

平成28年の児童福祉法改正により、社会的養護の方向は、家庭養育優先・里親の拡充・施設の小規模化且つ地域分散化へと大きく舵が切られました。しかし、現状と大きく乖離しており、この社会的養育推進計画の方向性が予想のつかない状況です。子どもの最善の利益が損なわれないように、慎重に進んでいきたいと思っています。



重点項目

- 1 都道府県社会的養育推進計画の検討
- 2 被虐待児への支援
- 3 自立支援
- 4 里親推進
- 5 地域小規模児童養護施設の支援の充実

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 381-3650 FAX: (075) 393-4316
E-mail: tsubasa@rondo.ocn.ne.jp

当法人の役員ご紹介

会長・理事	野口 雅 滋	京都桂病院 名誉院長
	澤村 忠 則	二条保育園 園長
	深尾 憲 一	弁護士
理 事	源野 勝 敏	京都桂川園 園長
	若園 吉 裕	京都桂病院 院長
	誉田 芳 孝	京都からすま病院 院長
	葛西 恭 一	西陣病院 院長
監 事	桑木 肇	公認会計士
	浅野 義 孝	元京都市保健福祉局長
顧 問	坂元 和 夫	弁護士
	大島 康 男	アイバンク管理会 名誉顧問
	大谷 村 和 治	弁護士
	大江 ひろみ	元こどもシェルター「はるの家」シェルター長
評 議 員	松原 義 人	元京都桂病院 院長
	掃部 光 昭	善峯寺 住職
	畑 正 高	株式会社松栄堂 代表取締役社長
	三浦 賢 佑	三浦診療所 所長
	安保 千 秋	弁護士

法人職員目安箱(投書箱)の案内について

法人職員皆さまからの職場での悩み事や苦情、ご意見等を受け付けています。携帯・スマートフォンでQRコードを読み取って発信してください。なお、投書は無記名でも結構ですが、連絡先、氏名等ご記入いただければお返事を致します。 法人本部事務局



京都桂看護専門学校

事業総括

令和2年度の学生数は、新入生34名に在籍生71名を加え105名でした。(定員120名)当年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、計画したカリキュラムの実施が制限される事態が発生し、感染防止対策を徹底しつつ遠隔授業や対面授業の併用等によりこれに対応しました。卒業生は34名で、33名が看護師国家試験に合格し、京都桂病院に31名が入職しました。



重点項目

- 1 教育活動の維持と充実
新型コロナウイルスの感染拡大により、計画したカリキュラムの実施が困難となり、遠隔授業と対面授業の併用、さらに学内実習の工夫を図ることで教育活動の維持に努めた。
- 2 学習環境の維持と整備
多目的室への無線LAN設備の設置、プロジェクタ・ビデオカメラ機材、映像教材(DVD)の導入。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-14
TEL: (075) 381-0971 FAX: (075) 382-5445
URL: http://www.katsura-nsc.net
E-mail: katsura-nsc@nifty.com